

「原発性乳がんにおける治療選択と安全性の包括的評価」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療記録の情報をを用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、原発性乳がんと診断され外科療法を行った患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

本研究では、当院における乳がん患者さんの外科療法を中心とした局所および全身療法の選択実態と、各種臨床病理学的因子（治療方法、手術因子、患者背景、病理学的因子）が治療成績に与える影響を明らかにし、実臨床における最適な治療選択のためのエビデンス構築を目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

病院長の許可後～1 か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

※通常診療で得られる診療記録の情報から、手術に関する情報、患者さんの背景情報、病理学的情報、治療に関する情報、転移再発に関する情報について、後ろ向きに情報を収集・解析します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である松浦 一生が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

原発性乳がんと診断され外科療法を行った患者さんを対象に診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 松浦 一生（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 松浦 一生

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：原発性乳がんにおける治療選択と安全性の包括的評価

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 松浦 一生